

ちゅうちま

3月になりましたがまだまだ寒い日が続いております。インフルエンザの流行は落ち着いてきたようですが皆様お気を付け下さい。

南山の郷ではお互いの風邪やインフルエンザの感染予防のため、ルンビニー園との交流行事をしばらく見合わせておりましたが今月になり久々に執り行いました。

今年度一年交流を続けてきた最年長のクラスの子供たちが卒園のため、一階食堂に集まりそのお祝いをしました。そして、子供たちからはお返しに手描きのカレンダーを頂きました。皆さんに見えていただける様フロアの食堂に飾っております。

これからも寒暖差が激しい日が続くと思われれます。風邪の流行防止に施設では手洗い等の対策を続けておりますので皆様も南山の郷に訪れた際は玄関での消毒、マスクの着用にご協力下さい。



皆様の声を受けて

5月号からユーザー評価事業での皆様の声を受けて、施設としての回答としてこの新聞を活用させていただきました。

年度最終となり、これまでの内容を振り返りました。いろいろな意見を取り上げさせて頂きましたが、やはり私たちの仕事は、利用者、ご家族の声で、普段の仕事を振り返ることができたり、励まされたりしていることがわかりました。もう一つ、人と人とが関わり合う中で、理解をお互いにしていけるように日頃からのコミュニケーションを大事にしなければいけないと改めて気づかされました。

ご家族から「余生を預かったと思えばやるべきことがみえてくる」という意味の言葉を頂きました。これまでの人生が一人ひとり違ったように、施設での暮らしも個々に違うものにできるようお手伝いしなければと思いました。また、それを実現していける体制に整えられるように、国や行政に働きかけるのも私たちの仕事だと思っています。

29年度のユーザー評価事業についての回答はどのような形で行っていくか、施設内で検討していきたいと思います。

ありがとうございました。

先月の行事

真冬の定番、鍋の行事を行いました。それぞれの食卓で一つの鍋から取り分け、皆さん一緒に召し上がられていました。

数ヵ所同時での火の取り扱いとなる為細心の注意が必要でしたが、皆さんの満足した表情、感想を聞いて、職員も「やって良かった」「来年もまた」と改めて皆で鍋を囲う温かさを感じました。

